

チンドン屋がPRに一役

7月5日(水)、城下町とっとり交流館「高砂屋」をPRしようと、チンドン屋のみなさんが市役所玄関から高砂屋までを、笛を吹いたり太鼓を叩いたりしながら練り歩きました。このチンドン屋は、鳥取市民劇場代表の伊藤げんさんや、チンドン屋でのバイト経験があるわらべ館職員の久保智美さんなど4人が行ったものです。チンドン屋の奏でる陽気な音色に、沿道の人たちは足を止め珍しそうに眺めていました。高砂屋では7月7日から鳥取市文化賞受賞作品なども展示していますので、ぜひお越しください。



佐治町地域活性化センター

中学生がふれあい体験

6月27日(火)、佐治町地域活性化センターで思春期ふれあい教室が開催され、佐治中学校3年生19人が、乳幼児の身体測定をしたり抱っこしたりしてふれあいました。生徒たちは、事前に乳幼児とのふれあい方について学習していましたが、実際に体験してみると思うようにいかないこともあるなか、終始笑顔で乳幼児に接していました。生徒を代表して竹本典弘さんが、「貴重な体験を通して命の尊さが分かりました。今後に生かしたいです」とあいさつし、乳幼児と一緒に快く参加いただいたお母さんたちへ感謝しました。



気高町船磯海岸

大物が穫れました

6月27日(火)、地区の高齢者で組織されている「ふれあいのまちづくり協議会」と、ひかり保育園5歳児のみなさんが地引網を一緒に引っぱり、交流しました。沖に張られた網の中でキスがきらきらと光るなか、みんなで力を合わせて網を浜まで引き上げると、体長70センチはありそうなマダイをはじめ、アジ、甲イカなどがいっぱい。子どもたちはイカの墨で服が真っ黒になりながらも魚を手でつかんで大喜び。初めての体験に大満足の様子でした。

鹿野町総合福祉センター

「武部と岡田」今年も観客を魅了

7月8日(土)、鹿野町総合福祉センターで「人生楽アリヤ苦モアルサ」と題して、地元のフォークデュオ「武部と岡田」がコンサートを開催しました。クチコミやチラシで集まった観客で満員になった会場で、まずは今まで発表してきた「やたら漬け」や「ふりむけば鷲峰山」などおなじみの曲を披露。2人のコンサートの魅力の一つである曲の間の鹿野弁トークや、続いて披露された新曲「中山間地域の少子高齢化問題に関する考察」では観客がうなずきながら大爆笑。アンコールでは会場が一体となって「ふるさと」を合唱し、1時間半にわたるコンサートを終えました。



白兎海岸ほか

待ちに待った海開き

7月13日(木)、市内の海水浴場のうち、白兎海水浴場と小沢見海水浴場が海開きし、合同の海開き式が白兎海岸で行われました。式には地元町内会や末恒小学校児童、そして4月にオープンした道の駅「神話の里 白うさぎ」の駅長などが出席するなか、海水浴客の安全を祈願する神事が行われ関係者が玉ぐしを奉納。その後、待ちかねた末恒小学校の児童66人が一斉に海へ入っていきました。白兎観光協会会長の三橋英雄さんは、「白兎海水浴場では無事故が続いている。今年も事故のないよう安全に力を入れていきたい」と力強く語っていました。

